

## 【分科会】



### 1. <入門講座> 学童保育ってどんなところ!?

<講師> 早乙女 勝利 (文京区指導員)

学童保育は子どもたちにとってどういうところなのでしょうか。学童保育で大切にしている生活・あそび・仲間・保護者のかかわりについて確かめ合いましょう。「指導員として働き始めたけれど、子どもや保護者とのように関わっていけばいいのかわからない」「学童保育に子どもを通わせているけれど、学童保育がどんな所かよくわからない」など、様々な疑問や悩みを保護者と指導員と一緒に考えましょう。

### 2. <交流> 学童保育の生活づくり

学童保育に通い始めた子どもたちは、指導員と父母(会)、そして仲間に支えられた生活の中で、信頼が生まれ、いきいきと遊び、仲間としてのきずなを深めて成長していきます。今の子どもたちの姿には、「落ち着かない」「仲間に入れたい」など、育ちの課題も見られます。子どもたち一人ひとりの成長を支えてきた経験や、逆にうまくいかずに失敗して苦労してきた経験を語り合いながら、学童保育にとって大切な「生活づくり」について指導員と父母で確かめ合いましょう。

### 3. <交流> 1人じゃない! 保護者と指導員と一緒に子育て

～子どものこと、伝えあっていますか?～

放課後の豊かな生活は、子どもたちと保護者と指導員とで作りだしていくものです。同じ子どもと一緒に見ていく保護者と指導員が子どもを真ん中にして、それぞれの立場で話してみませんか? 「伝え合うことの大切さ」や「難しさ」などを保護者と指導員で交流しましょう。

### 4. <交流> 困った子は困っている子 ～共に育ちあえる環境を～

学童保育では、「周囲になじめない」「すぐにカッとなる」「落ち着かない」など、発達面で少し配慮が必要な子どもたちも一緒に生活しています。その中で子どもたち同士のかわり合いや培われる力、共に育ちあえる環境について、保育の実践や家庭・親としてのかかわりについてじっくり話し合いましょう。

### 5-1. <講座と交流> 全国の学童保育施策の現状と課題 (情勢)

～新・放課後子ども総合プランと一体化～

<講師> 高橋 誠 (全国学童保育連絡協議会 事務局長)

「子ども・子育て支援新制度」において「放課後児童支援員」の原則複数配置が国の基準として示されましたが、わずか4年でその位置づけが変えられようとしています。23区では委託化・民営化、待機児童・大規模化、「新・放課後子ども総合プラン」における学童保育のあり方や放課後の子どもの居場所づくりなど、大きな課題を抱えています。こうした国や23区の動向を踏まえ、学童保育が固有の役割を果たし、子どもたちによりよい「生活の場」を保障するために必要なことを考えます。

### 5-2. <講座と交流> 子どもにとって生活の場とは ～一体化で見えてきたもの～

<講師> 下浦 忠治 (東京成徳大学講師、元品川区指導員)

放課後子ども教室事業と学童保育事業を「一体化」してしまう区が増えています。一体化により「大規模化」に拍車がかかります。そこでは毎日帰りたくなる生活の場を保障することはますます困難になっています。そのような環境下でも子どもに寄り添う保育とは? また、毎日安心して帰れる居場所となるためには何が大切にされなければいけないのか、この分科会で交流しながら確かめ合いましょう。

### 6. <交流> 委託化を考える

23区内では公設学童保育の運営の外部委託が増えています。委託になると何が変わるのでしょうか? 委託にあたっては、父母会や各区の連絡協議会が一緒になってプロセスを踏むことが重要です。子どもたちへの負担が最小限になるように、もう一度考えていきましょう。

## 7. <交流> 保護者がつながる

学童保育は、「安心して働きたい」という保護者の願いからつくられました。子どもたちの放課後をより豊かにしていくために、一人の保護者として何ができるでしょうか。指導員と一緒に子育てするってどういうこと？父母会って？地域で子どもを育てて？まずは、ここで出会った人とおしゃべりすることから始めてみませんか？

## 8. <講座と交流> 子どもへの接し方を考える ～感情のコントロールの視点から～

子どもの行動に対してイライラしてしまったり、感情的になって叱ってしまったりすることはありませんか？逆に、学童保育や家庭で子ども自身がイライラしている時どのように接したら良いのでしょうか？感情理解教育とも言われる「アンガーマネジメント」の視点から、衝動的な言動や行動で後悔しないための工夫をミニ講座として伝えます。その後、参加者の経験を交流しながら、より適切な表現や問題解決につながる行動について、整理して考えてみましょう。

## 9. <実践講座> いろいろ遊ぼう

学童保育の生活づくりに欠かせないあそびを実践する講座です。東京都学童保育連絡協議会が作成している小冊子をもとに、いくつかのあそびを実践します。ゲーム機を使わず、大人・審判がいなくてもできる「伝承あそび」から「リーダーが必要なあそび」、「トランプあそび」も実施します。学童保育で、親子で、友だちと、いつでも、どこでも、みんなで遊べるレパートリーをふやしましょう！

## 10. <講座と交流> 子どもたちのいただきまーす ～食でつながる学童保育～

**<講師> 高橋 千恵子 (相模女子大学非常勤講師、管理栄養士)**

子どもたちにとって食事やおやつはどんな役割をもっているのでしょうか。栄養学的にも精神的にも、食べることには重要な意義があります。生活の場である家庭や学童保育での「食」の意義について、もう一度見直し考えてみましょう。アレルギーや好き嫌いなどの問題、おやつや時間の量、「3・1・2弁当箱法」を活用して、食事の適量についても考えてみましょう。

\*\*\*\*\* きりとり \*\*\*\*\*

### 第48回 東京の学童保育研究集会【参加申込書】

お弁当・保育を希望される方は、6月13日(木)までにお願ひします。

所属	区・市	氏名	保育希望・三才以上	氏名 (ふりがな)
	学童保育名			( )才
連絡先	当日連絡のつく TEL・E-mail などをご記入ください		保育希望・三才以上	氏名 (ふりがな)
				( )才
立場	保護者 (OB/OG 含む) ・ 指導員		保育希望・三才以上	参加費：2,000円
	その他 ( )			お弁当代：600円 x ( ) 個
参加形態	全日・午前のみ・午後のみ		保育希望・三才以上	保育実費：400円 x ( ) 名
参加予定の分科会	第 分科会			合計 _____円を添えて、申し込みます。
※当日変更可能です。現時点の希望分科会をお願いします。				

ご記入いただいた個人情報は、本研究集会への参加申し込み受付業務と問い合わせのみで使用いたします。